

中小企業・小規模事業者の事業持続化

〔講座概要〕

皆様、明けましておめでとうございます。旧年中はお世話になり誠にありがとうございました。本年もご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。すっかり寒い時期になりました。巷ではインフルエンザが流行しているようです。新型コロナウイルスも下火になってはいるもののまだまだ予断を許しません。どうぞ皆様ご自愛ください。

さて、1月度のスキルアップ研修は、古川忠彦先生にご登壇いただきます。古川先生は新加坡ではお馴染みですね。当協会の監事に就任されておりますように、本来は会計畑の先生です。現在は、独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構）の中小企業アドバイザーとして、またアルパーコンサルティング株式会社の代表取締役として活躍されております。

企業において重要な経営課題のひとつに「事業持続化」があります。特に小規模な事業者ほど事業を持続していくこと、生き残っていくことが大変な時代になっています。今日の企業経営は多様化しており、新しい経営手法が開発されています。今や中小企業・小規模事業者であっても新しいものにチャレンジして行かないと時代の流れに取り残されてしまいます。では、どうすればいいのでしょうか？本講座では先生が本業で培われたノウハウとご自身の経験と研究に基づく実践的なお話をいただきます。是非ともご受講いただきますようご案内申し上げます。なお、当支部の研修は会員の紹介でどなたにでもご受講いただけます。皆様のお知り合いで興味のある方がおられましたら、是非ご紹介ください。

関西・東海支部 支部長 西原玉久

〔講師紹介〕 中小機構・中小企業アドバイザー、経営士 古川 忠彦 先生

【経歴】1964年生まれ東京都出身 東京都三鷹市在住大学卒業後株式会社TKCに入社し、2004年に40歳で取締役就任。在籍中は中小企業会計を軸に中小企業・小規模事業者の業績管理体制構築支援に従事。2014年に同社を円満退社しアルパーコンサルティング株式会社を設立。会計を軸に据えたマーケティングやマネジメントの在り方を中心に現場支援にあたる。自社の顧問先への支援のほか、全国各地の商工団体・地域金融機関からの依頼を受け、毎年100件以上の講師業や、数十社の個別経営相談にも対応している。この間、中小企業庁「中小企業政策審議委員会金融小委員会」委員、中小企業庁・特許庁「知的財産取引検討会」委員など、各省庁の審議会・検討会・研究会委員等を務める中で、より良い国づくりのために、「現場の実態」を踏まえた「地に足の着いた政策づくり」をサポートしている。

所属団体：中小企業会計学会（発起人・監事保有資格：経営士（特定非営利活動法人日本経営士協会首都圏支部所属 2013年経営士登録）

・・・ 御 案 内 ・・・

〔開催日時〕 2024年1月28日（日曜）13：30～15：00

〔開催方法〕 テレビ会議システム zoom

〔申込方法〕 関西・東海支部事務局 藤岡宛 (t-fujioka@jmca.or.jpに返信) にて申込
(当支部外の方は所属支部名・氏名・メールアドレスを明記ください) 参加のご連絡をいただきましたら、追って当日の zoom の URL とレジユメをお送りいたします。

〔申込締切〕 2024年1月20日（土曜）必着

〔参加料金〕 会員無料、会員外2,000円

〔定 員〕 20名程度（お早目にお申込下さい）

〔主 催〕 特定非営利活動法人 日本経営士協会関西・東海支部